

食物栄養科学生の「英語コミュニケーション」授業の 教材・教科書開発の研究（1）

須 永 紫乃生

An Approach to Teaching Materials and Textbooks to Be Used in “English Communication” Classes For the Students of the Food and Nutrition Department

Shinobu SUNAGA

Abstract

This paper is a research on the effective teaching materials and textbooks to be used in the “English Communication” classes for the food and nutrition majors. I am going to develop the materials including glossary and audio-visual aids and textbooks based on ESL and ESP.

GEL, general English learning, has been accepted in college English language education. But recently more effective and useful English learning methodology is required to meet the international communication and cooperation for academic, cultural and business purposes. ESP is rather a new approach to English language learning and teaching: English for specific purposes or English for special purposes, more often EPA.

I will discuss what ESP today is. Business English or English for trading has been developed as ESP, though the term ESP was not often mentioned. Sample approaches for the ESP will be shown.

Then I will discuss and analyze my teaching plan and materials which have been used in the “English Communication” classes for 2005 school year.

This is the first year of my three-year research project for the teaching materials and textbooks for communicative English education for students of the Food and Nutrition Department. Therefore, the second year research will focus on vocabulary or glossary of terms relating to food, nutrition, food culture, eating customs and others. Also it will include idioms and fundamental expressions, and planning and partly compiling of visual and audio references.

Key words : ESP, glossary, food, nutrition, dietetics, cooking, recipe, kitchen tools, culinary art

1. はじめに

栄養士養成機関としての駒沢女子短期大学で、平成14年度に生活科食物栄養専攻学生を対象にした「英語」、その後平成15年度から食物栄養科学生向けの授業「英語コミュニケーション」を担当している。平成16年度まで3年間の食物栄養科学生の教育体験に基づき、専門分野別英語教育（ESP）の取り組みを、平成17年度から開始した。

平成17年度から3年計画で、食物栄養科の1年生に英語でコミュニケーションする力をつけるための教材と教科書を開発することを目標にする。合わせて栄養士、管理栄養士に期待される英語の知識と専門分野の国際感覚を認識する基礎力を身につける一助となる授業を目指して教材および教科書を制作する。しかし、高校での英語学習法を持ち込んでその継続を期待する学生、英語が得意でないと思いついて入っている学生、断続的におしゃべりをする学生等と、逆に英語ができる学生、これまでのあきらめを捨ててやる気を出した積極

的な学生が混じって、43名のクラス構成である。一斉授業のみでまとめることは、かなりのエネルギーをつかって容易ではない。学生の英語の学力・能力と学習意欲の多少を考慮したグループ学習を採り入れた授業を、平成16年度後期には行った。それなりの効果は認められた。

本論では、初年度である平成17年度の授業を概観し分析し、改善点を見出して、平成18年度の授業に組み込んでゆく。次年度はグロッサリーを作成し、そのデータを活用し、さらに興味を呼ぶ要素を授業の冒頭に取り入れる方針である。

2. ESP の現状

英語を含め言語はあらゆるコミュニケーションの手段である。いわゆる「英会話」は personal communication といえる。ビジネスや政治・外交の分野のコミュニケーションは、さまざまな目的と条件を満たさなければならない。その目的に見合った英語の習得法が考案されてきた。その目的別専門英語を English for specific purposes または English for special purposes、略して ESP と呼ぶ。Google で ESP を検索すると、前者が約46,900,000件、後者が約56,400,000件、後者のうち日本語表記のものは77,100件ヒットする。教育界よりはむしろ、政経、ビジネス、科学、工学技術、医学、メディア等の分野で ESP が盛んである。

商業英語の分野では、かなり前から、ESP が開発されてきた。大学を卒業して会社に参加してすぐビジネス業務に携わることを期待されている学生に、予備知識と予備訓練を経験することが求められてきた。森彰(2000)は、東洋大学経営学部商学科が実施する英語教育のあり方を論じている。(注1)

“English for Special Purposes” そのものを科目名にする例もある。これは Business English Skills を外国人講師が教える科目である。(注2)

英語を第二外国語とする外国人の英語 (ESL) の教育を専門に研究してきた TESL は、米国はもちろん日本をはじめアジア各国、世界の各地で、ESP を目指してきた。『インターネット TESL ジャーナル』も刊行して活動している。(注3)

IT の普及に伴い、さまざまな ESP 関係のデータがウェブサイトに見られる。「コンピュータ&エデュケーション」(CIEC) の論集(注4)、「カルチャーカフェ英語タウン」(注5)、シアトル観光に呼び込むための観光用英語表現を流す“All About Seattle—English”のウェブサイト(注6)等、研究者用、学習者用、レクリエーション用等多岐の分野にわたる。

呉大学社会情報学部の Simon A. Fraser 教授の“Vocabulary and the Teaching of English for Specific Purposes”(注7)は本研究の参考になる。

園城寺康子は、平成13年度から15年度にかけて「看護学科における英語教育のニーズアナリシスとカリキュラムへの示唆」の共同研究を行い、平成17年度に共著で、『看護英語読解15のポイント』を刊行した。(注8)

食物、料理関係の ESP を考慮した大学テキストは、日本ではまだ極めて少数である。山梨学院大学短期大学食物栄養科テキスト『中国の食文化と実践』、広島修道大学テキスト『新しい日本料理酒肴事典』魚介編の2種、および病気と関連するハーバード大学テキスト『心臓病の病態生理』(「やせたい」に隠された心—摂食障害から回復するための13章)(日本語版)が、Google の日本語検索には見られる。(注9)

また、料理や食物関係の辞事典類の数も限られ、岡崎整一郎他『料理用語・基本技術事典』(1972)、山本直文著『食物事典』(1990)、中型辞典の近著は、永井一彦ほか編『日本語から引く「食」ことば英語辞典』である。(注10)英国オックスフォード大学出版局の刊行物には、食関係の辞典や著書が20種くらい入手可能である。最近の出版物の傾向に、インターネット出版 (e-publishing, e-books) がある。それらの検索はウェブサイトで簡単にできる。

本執筆者は、兼任講師として出講する A 大学において Calabo 教室 (computer-assisted (language) laboratory) でメディア英語教育を行っている。インターネットから英字新聞の記事やテレビ局の報道記事を取り出して、受講者の PC スクリーンに送り、各自が読み、Quiz の回答を書いてもらい、回収して読む

表1 平成17年度シラバスの「英語コミュニケーション」のテーマ（項目）と内容メモ

回	項 目	内 容
1	How to Be a Good Speaker	「英語」に強くなるには（ガイダンス）
2	Hello!	クラスメートとの会話
3	Getting Slim	ダイエットの話
4	Let's go swimming!	スポーツと健康
5	Fresh from garden	旬の野菜料理
6	Let's go on a picnic!	ピクニックの相談
7	Juicy Things	フルーツジュースで夏も元気
8	Local Delicacies	ふるさとの食彩
9	How to Cook	レシピで料理上手
10	Birthday Party	誕生パーティー
11	Get well soon!	病院へお見舞いに
12	Drive-through Restaurant	クルマでスナック
13	Summer Camp	サバイバルの知恵
14	American Apple Pie	りんごの効用
15	Review	復習とまとめ
16	Anti-aging	元気いっばいの人
17	Goodwill Guide	ガイドのボランティア
18	A Trip to Anchor Watt	世界遺産への旅
19	Earth-friendly Shopping	環境にやさしい買い物
20	Romancing the Future	世界のファッション
21	A Rolling Stone	ことわざ日英比較
22	Colorful Cooking	秋祭りの料理
23	Athletic Festival	運動会
24	Shichigosan Festival	七五三
25	Thanksgiving Party	秋の感謝祭
26	Christmas Goods	クリスマスの飾りつけ
27	Year-end Cleaning	すす払い
28	New Year Day	お正月の祝い方
29	Winter Sports	ウインタースポーツ
30	Review	復習

など、英語メディアを利用した授業を3年間実施した。将来駒沢女子短期大学でも Calabo 教室が利用可能になれば、一斉でなく、学生が個人個人で取材して、自習も可能になるであろう。食物栄養科の学生は1年次に、献立作りに必要なコンピューター利用技術を学習している。学生の好みとニーズに見合った独習も授業の一部におくこともできるであろう。

「英語コミュニケーション」は、英語が特にできる学生向けというより、大多数をしめる英語の学力は中程度から英語がそれほど好きではない学生でも、「英会話ができるようになりたい」という。その願望に応えることを意図した。英語が好きな学生でも、話すこと、音声表現はあまり得意ではないことが多いので、オーラル コミュニケーションは受け入れられるであろうとの推測であった。

以下、平成17年度に取り組んだ英会話の教材作りを論じ、補完する教材の計画を検討する。演習用文型の文例を支えるグロッサリーを、計画2年目に当たる平成18年度前半に制作し、その制作期間中にも既存の教材に取り込んでゆく。

3. 平成17年度「英会話」制作の計画

毎年度初めの授業で、「この授業で自分が目指したいこと、教えて欲しいこと」の簡易アンケート調査を行っている。希望だけでは、言っただけで実行が消えてしまうため、各自の努力目標を持つように刺激する

表2 平成17年度実施「英語コミュニケーション」のテーマ(項目)と内容メモ

回	項 目	内 容
1	How to Be a Good Speaker	「英語」に強くなるには (ガイドンス)
2	Hello!	クラスメートとの会話
3	Getting Slim	ダイエットの話
4	Let's go swimming!	スポーツと健康
5	Fresh from garden	旬の野菜料理
6	Let's go on a picnic!	ピクニックの相談
7	American Apple Pie	りんごの効用
8	Local Delicacies	ふるさとの食彩
9	How to Cook	レシピで料理上手
10	Singing in the Rain	梅雨の過ごし方
11	Get well soon!	病院へお見舞いに
12	Summer Camp	サバイバルの知恵
13	Drive-through Restaurant	クルマでスナック
14	Birthday Party	誕生パーティー
15	Review	復習とまとめ
16	Anti-aging	元気いっぱいの人
17	Goodwill Guide	ガイドのボランティア
18	Eco-friendly Shopping	環境にやさしい買い物
19	Shichigosan Festival	七五三
20	Fall Cooking	秋野菜の調理
21	Halloween	ハロウィン
22	Thanksgiving Party	秋の感謝祭
23	Tea, Coffee and Alcoholic Drinks	飲み物いろいろ
24	Christmas Goods	クリスマスの飾りつけ
25	How to Cook "Melon Muffin"	メロンパン (レシピ)
26	Review	復習

こと、その目標を聞いたうえで、授業のなかで最大多数の希望を生かしたいと行っている。「英語コミュニケーション」という授業科目名から学生が連想するのは、「英会話ができるようになりたい」が3分の1強であった。したがって、日常会話のQ&Aを覚えるためのプログラムを考案した。

上掲の表1が、平成17年度シラバス(2005年4月)に掲載した「英会話」のテーマと内容のメモである。

日常英会話の中に、食物、料理、食生活、食文化等のテーマで、あるいは会話の中でそれらに視点を置き、日本人の若い女子学生と英米人の同年輩の男女、英米人家族とのやり取りを創作した。

4. 平成17年度「英会話」の制作結果の分析

表2は、実際に教材として用いた「英会話」のテーマのリストである。

各授業は、英会話のほか慣用表現や語彙、イディオム、質問(Quiz)等を含めた内容から成る。

以下に、教材の実例を6例——実例5は3例——あげ、意図と効果等の分析、および18年度使用する際の改善点を指摘する。

4-1. 会話

実例1は、⑥の「ピクニックの会話」である。太字の文は、このテーマに直接役立つ文で、十分指示・説明し、授業の最後30分間に、練習コンビを組んだ学生同士の会話を制作してもらったりもした。かなりの数の、良い内容で文例も生かされた会話ができていた。斜体は、他の状況でも応用できる表現を表わす。

いつも会話からでは飽きるので、実例4のように、後半に短い会話を入れたものもあった。

また、実例5のように、会話の基本である質問をならべ、その回答を自習する形も採用した。

Kyoko : Hi, Mike! **Would you like to go on a picnic?** *The weather report forecasts a good weekend.*
 Mike : **That's a good idea,** Kyoko. **I had a plan to take a three-day trip to Kyushu,** *but there weren't enough tourists to fill the seats. I'd still like to go somewhere.*
 Kyoko : Well, then, I think **you'd enjoy a picnic.** *Right now is the best season since the rainy season will begin soon.*
 Mike : **Where would you suggest we go?**
 Kyoko : **I am thinking about Inokashira Park** in Mitaka. After lunch we can see the Botanical Garden or the Zoo. The park *is easy to get to by bus or walking from JR Mitaka station.*
 Mike : **Do you mind if I call Jack to come with us?**
 Kyoko : *Of course not.* **Can I tell Midori to join us, too?**
 Mike : *Please do.*
 Kyoko : Midori and I are going to **make sandwiches and some other things for lunch.**
 Mike : *That sounds great.* Well, I have to go to math class now. *Talk to you later* this afternoon.
 Kyoko : OK, Mike. *See you later, then.*

Foods and Beverages for Picnics

Sandwich < 1962. John Montagu, the Fourth Earl of Sandwich (1718~92)
 the meat [filling] in the sandwich サンドウィッチ
 sandwiched between A and B

Variety of sandwiches : chicken sandwich ; ham sandwich ; cheese sandwich ;
 turkey sandwich ; vegetable sandwich ;
 ham salad sandwich ; egg salad sandwich

to make a sandwich on rye bread
 open face sandwich ; buns

variety of salad, etc. : potato salad ; baked beans ; fried chicken, corn, deviled eggs

Bars : 1) places : ① drink bars — milk bar ; wine bar ; snack bar ;

② In restaurants — sandwich bar ; salad bar ; wine bar

2) shape — candy bar ; chocolate bar

drinks : black tea ; green tea ; oolong tea ; milk ; iced tea ; iced coffee ;

fruit juice : apple juice ; orange juice ; lemonade ; grapefruit juice ; grape juice ; guava juice ;
 apricot juice ;

alcoholics : beer ; wine ; sake ; liquor

(*Mary is looking at an English magazine.*)

Akiko : Hi, Mary. What are you reading?

Mary : Hi, Akiko. This is *Good Housekeeping* June issue. I'm reading "*home cooking: recipes*".

Akiko : **What's June's special,** Mary?

Mary : **Fresh blueberry pie.** Would you like to *have a look?*

Akiko : Thank you.

Mary : Look at this page.

Akiko : Wow! Oh, I love blueberries. (*Reading a few lines*) Can I really **do the preparations in 15 minutes?**

Mary : **You need about 15 minutes** to prepare and then **some more time to chill the ingredients.**

Akiko : I'm glad to know that I'll be able to **make a fresh blueberry pie.**

Mary : But, Akiko, you need fresh blueberries. **Are they available here?**

Akiko : Well, I have a friend whose family grows blueberries in Nagano.

Mary : Then **I'll make a copy of the recipe for you.**

Akiko : *That sounds great.* Thank you.

Mary : I'll give it to you tomorrow when we meet.

Akiko : *See you then.*

Mary : *Eye now.*

实例 3 American PUMPKIN PIE

(©2004 Gina D.B. Clemen. *British and American Festivities*. Black Cat Publishing.)

Invite your friends to a Halloween party. To make your party a big success, make an American pumpkin pie! It's delicious and easy to make! Here's a recipe for four people.

Ingredients

2 kg of pumpkin

1/2 litre of milk

4 eggs

1 cup of brown sugar

4 tablespoons of flour

1 teaspoon of baking powder¹

100 g of butter

1/4 teaspoon of salt

1/4 teaspoon of cinnamon powder

Utensils to use

a big frying pan

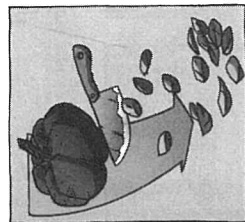
a tablespoon

a teaspoon

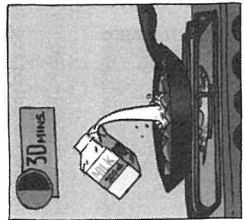
a wooden spoon

a big bowl

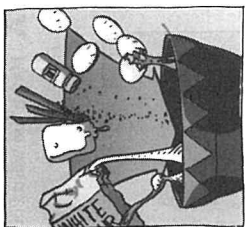
a non-stick pie dish



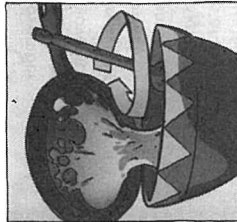
1 Cut the pumpkin into small pieces and remove the peel.¹



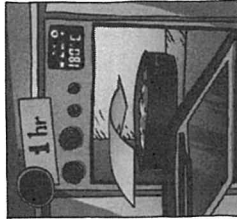
2 Put the pieces into a big frying pan and add the milk. Cook the mixture for 30 minutes. Don't forget to mix it.



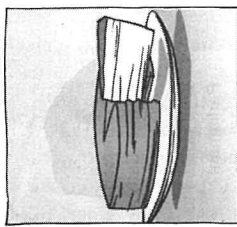
3 Now break the eggs into a bowl. Add the flour, sugar, baking powder, butter, salt and cinnamon powder. Mix these ingredients.



4 Add the pumpkin and milk mixture to the ingredients in the bowl and mix.



5 Put the mixture into a non-stick pie dish and then put the dish into the oven (180 °C) for one hour.



6 Serve the pumpkin pie cold. Happy Halloween!

¹ baking powder : this helps the bread or cake mixture to get bigger in the oven.

Jesus Christ Christ=Gk. 救世主 《ヘブライ語》メシア=Messiah
 the Son of God (神の子); the Savior (救世主); our Lord (主)

Christmas carols :
 “Joy to the World”
 “Silent Night”
 “Hallelujah” halaluyah=praise ye (Handel)
 “O Come All Ye Faithful”

Christmas songs :
 “Jingle Bells”
 “White Christmas”
 “O Christmas Tree”
 “Santa Claus is Comin’ to Town”
 “Rudolph the Red-nosed Reindeer”

Christmas symbols :
 Mistletoe and Holly (on the door)
 Poinsettia (image of stars that shone over Bethlehem)
 Fir tree (decorated indoors)
 Candy cane (shaped in a J for Jesus)
 Yule log (now, chocolate-coated cake decorated with holly)
 Christmas stocking
 Christmas card
 Santa Claus < オランダ語 Sante Klaas=Saint Nicholas 聖ニコラウス

Conversation on Christmas Day

(Coming out of Church after Christmas service)

Mrs. Adams : Well, that was an inspiring service! Now time to go back and get the dinner ready. Both grandchildren are coming over.

Mrs. Byrd : Me, too. I've got a 10 pound turkey to roast. Are you serving pumpkin pie?

Mrs. Adams : Not this year. I've decided to make a mince meat pie.

Mrs. Byrd : I suppose Santa Claus stopped by your house last night.

Mrs. Adams : He did — and left a few extra presents for Sally and Tom. We'll wait until they come and then open the presents.

Mrs. Byrd : Oh, over there some carolers are singing. Let's listen for a few minutes.
*“Joy to the world, the Lord is come
 Let earth receive her King...
 Let every heart prepare Him room
 And heav'n and nature sing
 And heav'n and nature sing
 And heav'n and heav'n
 And nature sing”*

4-2. 文型練習、表現演習について

上掲(実例1)のように、太字でプリントされた文は、テーマに密接な表現である。文の意味を十分説明した。

実例2は、会話の中の下線部は、レシピの“A blueberry pie”に関連した表現を示す。学生が喜ぶパイのレシピは、“as American as an apple pie”の慣用表現にもあるapple pieのものも紹介した(第7回)。

4-3. 行事、習慣、文化の学習

後期には、“Trick or treat”を体験した「ハロウィン」(Halloween)、アメリカの「感謝祭」(Thanksgiving Party)の行事をテーマに設けた。「ハロウィンはとても興味があったので楽しかった」「ハロウィンの時は、それにちなんだプリントを配ってやって面白かった」との反応があった。

実例3は、Halloween (21) と Thanksgiving Party (22) に出てくる“American Pumpkin Pie”の作

I. Quiz :

Answer the questions below choosing from the choices, and fill in other appropriate names
choices : tea, coffee, wine, sake, apricot wine, vodka, sherry

1. The Chinese cultivated () from plants originated in China around 4,500 years ago. (注1)
2. () is brewed from beans.
3. A monk from a monastery (修道院) first found () plants in Ethiopia around 850 AD.
4. The history of () began when Greeks discovered its flavor and taste of fermented grapes.
5. China and Japan made () from boiled rice.
6. The dumping of English () triggered the American Revolution.*
7. It is said the plants to be made into () were grown in Asia Minor or Armenia.
8. The so-called () is the wine produced in Spain and brewed in England.
9. The strongest alcoholic drink (45%) is () which is produced in Russia.
10. () is made of green fruits of Japanese apricots and crystallized sugar in white liquor.
11. The great producers of () are Italy, France and Spain.
12. We don't serve () to children under the age of 15.

II. Kinds of each drink

Tea — 緑茶 :

煎茶 :	粉茶 :	ほうじ茶 :
玉露 :		抹茶 :
紅茶 :		
ダーズリン :		キーマン :
ウヴァ :	アッサム :	ニルギリ :
アールグレー :		オレンジペコ :
ウーロン茶 :		
フレーバーティー :		
ハーブティー :	カモミール茶 :	バラ茶 :
ティーバッグ :		

Coffee—緑豆 : アラビカ種 () ; ロブスタ種 ()

ブルーマウンテン :	ブラジル :	
コロンビア :	グアテマラ :	コナ :
焙煎コーヒー :		
レギュラーコーヒー :	インスタントコーヒー :	
脱カフェインコーヒー :		

Wine—赤 : 白 : ロゼ :

醸造所 :		
ヌーボーワイン :		

り方をわかりやすく絵入りで紹介した好例で、本全体が参考になるので教室で推薦した。(注11)

実例 4 は、まず、クリスマスが何か、クリスマス文化について言葉とともに学習した。次に、米国の一般市民の(珍しく年配者間の)クリスマスらしい会話を取り上げた。会話の最後にある“Joy to the World”は、クリスマスキャロルの CD を聞き、そのあと、英語の歌詞のプリントを見ながら、CD に合わせて、皆で 4 曲を歌った。

実例 5 (1)は、会話を離れて、お茶、コーヒー、ワイン等のアルコール飲料の歴史や文化、種類等を勉強した。実例 5 (2)は答えである。実例 5 (3)の 1 ~ 9 は、日常会話でよく使う最小単位の質問文と解答を用意した。10 ~ 13 は、英語プラス習慣や効果等が分かる。

実例 6 は、野菜その他の食品を下ごしらえや処理法を学ぶ際に語彙とイラストが適切な例で、学生が通常持っている和製の中型辞典には見られない。分かりやすく簡潔な“wordwise”の記述の外国製辞典の紹介を兼ねて、*Longman Wordwise Dictionary* を回覧した。(注12) その後、グループで書いた「野菜サラダの

- I. Quiz : Answer the questions below choosing from the choices.
choices : tea, coffee, wine, sake, apricot wine, vodka, sherry
- The Chinese cultivated (tea) from plants originated in China around 4,500 years ago.
 【植物】チャ (*Thea sinensis*) (注1)
 - (coffee) is brewed from beans.
 - A monk from a monastery (修道院) first found (coffee) plants in Ethiopia around 850 AD.
 - The history of (wine) began when Greeks discovered its flavor and taste of fermented grapes.
 - China and Japan made (sake) from boiled rice.
 - The dumping of English (tea) triggered the American Revolution.*
 - It is said the plants to be made into (coffee) were grown in Asia Minor or Armenia.
 - The so-called (sherry) is the wine produced in Spain and brewed in England.
 - The strongest alcoholic drink (45%) is (vodka) which is produced in Russia.
 - (apricot wine) is made of green fruits of Japanese apricots and crystallized sugar in white liquor.
 - The great producers of (wine) are Italy, France and Spain.
 - We don't serve (coffee) to children under the age of 15.

* Boston Tea Party (1773) ボストン茶会事件

II. Kinds of each drink

Tea — 緑茶 :

煎茶 : green tea 粉茶 : powdere tea ほうじ茶 : roasted tea
 玉露 : refined tea ; superior tea 抹茶 : matcha ; finely ground tea

紅茶 :

ダージリン : Darjeeling (India) ; キーマン : Keemun (中国)
 ウヴァ : Uva (Sri Lank) アッサム : Assam (India) ニルギリ : Nilgiri
 ブレンド紅茶—アールグレー : Earl Grey オレンジペコ : orange pekoe

ウーロン茶 : oolong tea

フレーバーティー : flavor tea — apple tea ; mint tea ; cinnamon tea

ハーブティー : herb tea —カモミール茶 : Chamomile ; バラ茶 : rose hip

ティーバッグ : packed tea ; tea packs

ティーサロン : tea salon—Fortnum Mason ; Twining ; Melrose's ; Brooke Bond ;
 Mariage Freres (France) ; Lipton (U.S.A)

Coffee—green beans : アラビカ種 (Arabica) ; ロブスタ種 (Robusta) ; ティピカ種 (Tipica)

ブルーマウンテン : Blue Mountain (Jamaica) ブラジル : Brazilian

コロンビア : Columbia グアテマラ : Guatemala コナ : Kona (Hawaii)

焙煎コーヒー : roasted coffee — high [city] roast ; French roast ; espresso

レギュラーコーヒー : regular インスタントコーヒー : instant coffee

脱カフェインコーヒー : decaffeinated coffee

Wine—赤 : red ; vin rouge 白 : white ; vin blanc ロゼ : rosé

醸造所 : distillers 例 : Chateau d'Argent

ヌーボーワイン : vin nouveau

作り方」(英文)を提出してもらった。

「(20) 秋野菜の調理」では、欧米で下ごしらえや調理に用いる台所用具を学習した。ナイフは6種、しかし、大きなものを切ったり骨付きの肉が切れる日本では見かけない半月形の大型包丁 (demi-moon knife) もある。パンやケーキ、クッキーの型は何種類もある。学生は、形と英語の名称の照合に熱心だった。

5. まとめ : 「英語コミュニケーション」授業の構成について

「英語コミュニケーション」の授業では、大多数の学生の「英会話ができるようになりたい」という願望に応じて Q&A のスキットを積み上げた会話の構成に努め、声に出して表現することを薦めた。しかし、反

III. 飲み物に関する表現：

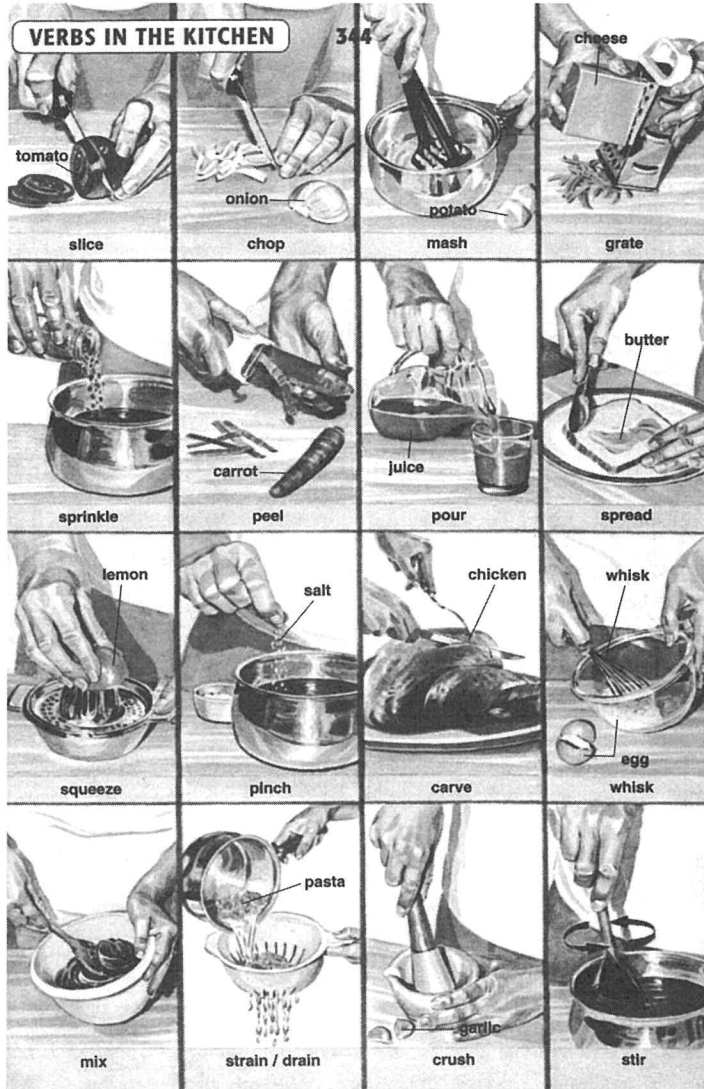
1. Which would you like tea, coffee, or soft drinks?
— Tea, [Coffee, Orange juice,] please.
2. Would you like your coffee black?
— Yes. / No. (I'd like it) with milk.
3. Would you like tea with lemon or milk?
— With lemon, please.
4. What would you prefer, wine, sake or soft drinks?
— I'd prefer wine.
5. How about Italian espresso?
— Thank you, but I don't like it. / I'd like it so much.
6. How about another cup of coffee?
— Thank you. Yes, please.
7. Would you like some more tea?
Yes, a little more, please..
8. Would you like some cookies I baked this morning with tea?
— I'd love to. A couple of them, please.
9. Do you use a coffee-making machine or a percolator?
— (I use) Coffee-maker. Percolator=濾過装置付きコーヒー沸し器
10. What is the afternoon tea?
— It is a light meal at home or in the office after working hours. It usually starts around 5 o'clock in the afternoon and serves tea or beer with cookies, pastry or cheese and bread. High tea is served between lunch and dinner, which used to be kept at 8 p.m.
— 一日の仕事のあと、家庭で、あるいは職場で摂る軽い食事。通例、午後5時ころ始まり、お茶やビールを、クッキーやパン、チーズとフランスパンと共に供する。
「ハイ・ティー」とは、昼食と夕食の間に摂る。夕食は午後8時ころが習慣になっていた。
11. Caffeine in tea and coffee is a stimulant.
— お茶やコーヒーに含まれるカフェインは刺激剤です。
12. Coffee is believed to have diuretic substance. Cf. diuresis [daijuru:sis]
— コーヒーには利尿を促進する物質が含まれているそうです。
13. It's not my cup of tea. =You don't care for much.
— どうだっていい。君には関係ない。

復練習は疲れるため途中で声が聞こえなくなることもしばしばであった。

17年度は、おもに英会話のスキットに焦点を当てた。しかし、一般常識としての英語知識に加え、食物栄養科の学生の講義や実習の授業のなかでも役に立つような語彙や表現・文例を時には多く、時には少し含めた。平成16年度前期に採用した市販教科書に登場した“green tea”の効用——ポリフェノールやカテキンのようなかなり専門性の高い語彙等は、筆者の意図に反して不評であった。「英語コミュニケーション」は1年生の通年科目であるが、受講生は1年前期の「食品学Ⅰ」では学んでいなかったからである。

実例 6 VERBS IN THE KITCHEN

(©2001 Pearson Education Limited. *Longman Wordwise Dictionary*.)



なお、17年度前期の最終授業(7月中旬)に全学的、科目別に行った「授業アンケート」に、任意の質問として「食に関するテーマの学習を授業に取り入れたことについて、どう思いますか」を設けたところ、賛意を表明した学生が、美組で42人中33人、善組で40人中35人もあった。食物栄養専攻の学生には「食に関するESP」が受け入れられていることがわかった。

17年度シラバスのうち旅行(18) ファッション(20) 運動会(23) すず払い(27) ウィンタースポーツ(29) はかなり資料を用意したが、授業の進捗具合で扱えなかった。

「プリントが多くて整理がむずかしかった」「板書が見にくい」「私語が大きくて先生の声がよく聞こえなかった」等の意見は、筆者が演習用と資料の指示をじゅうぶん徹底できなかったことを物語っている。①会話の中での重要表現の指摘、②基本的語彙の紹介はよいとして、③英文の訳については、文の構造の説明を

表3 平成18年度「英語コミュニケーション」シラバス（項目と内容メモ）

回	項 目	内 容
1	How to Be Good at English	英語に強くなるには（イントロ）
2	Different Tastes	味の表現 It's sweet.
3	“Curry-rice”?	「カレーライス」の英語は？ 辛いは？
4	Tea for Two	お茶：種類、勧め方、Afternoon Tea
5	Fruit 1：Fresh and Canned	フルーツ 1：名前の語源と果物の効用
6	Recipe：How to Cook	レシピ：調理用語・調理用具
7	Fresh vegetables	旬の野菜とレシピ
8	Flavoring Ice Cream	アイスクリームのフレーバー
9	Local Delicacies	世界の料理
10	Talks on Coffee	コーヒー：歴史、ブレンド、コーヒー文化
11	Hamburg and Omelet	ハンバーグとオムレツ
12	Restaurant と Coffee shop	料理の選び方：メニュー
13	Fish and Sushi Rolls	サカナとすし
14	Food for Summer Camp	サバイバル用品と保存食品
15	Review	復習とまとめ（中間テスト）
16	Mushrooms	きのこときのご料理
17	Fruit 2：Oranges	オレンジとみかん
18	Nuts-hunting	ナッツと栗ごはん
19	Rice recipes	「ごはん」「プティン」ほか
20	Pumpkins	カボチャ（ハロウィーンと感謝祭）
21	Wine & Dine	ワインと食事；注文の仕方
22	Candy, Chocolate & Cake	チョコレートとケーキ
23	Japanese delicacies	和菓子とお茶席
24	Table manners	食事のマナー
25	Suppliments and Drinks	スポーツとエネルギー食品
26	Christmas Food & Customs	クリスマスのごちそうと習慣
27	New Year's Delicacies	もちとおせちのレシピ
28	Eggs and Easter eggs	たまごとイースター・エッグ
29	Review	復習
30	Term Exam	定期試験

してから和訳を伝えたが、まわりくどい説明と受け取られた感じもした。

上記の反省に立って、平成18年度は、精選してエキスを取り上げる。語彙や基本文例を絞り、英会話の最小単位のスキット、英文の最短パラグラフの選択を心がけ、反復訓練がづらいという学生に対処する。改善点をもりこみ、「表3. 平成18年度シラバス（項目と内容）」をまとめた。

18年度は、英語への関心を補い、より食物栄養の専門の分野に出てくるカタカナ語の原語である英語やイニシャル語（例：NST）がすぐ理解できるように「やさしい導入」を図るために、グロッサリーを作製し、それを活用した語彙の演習、質問（Quiz）等を置く教材開発と教科書づくりを研究する予定である。さらにテーマも ESPらしく、日本語になったと思われるような食品名や調理法などの語彙を含めていく。

注：

1. 森彰。「大学における教授法と教育システムの開発（9）」。東洋大学経営学部『経営論集』第51号。2000年。
2. “English for Special Purposes”. www.pref.kanagawa.jp/osirase/02/0273/eigo.htm- 104k
3. “An Overview of The Internet TESL Journal’s Things for ESL Teachers and Activities for ESL Students”—<http://iteslj.org/overview-ej.html>

4. 「コンピュータ&エデュケーション Vol.11」 CIEC.
5. 「冠婚葬祭の英語&習慣 その1 お悔やみの英語」『英語タウン』
http://www.eigotown.com/culture/special/ceremonial/ceremonial_p2.shtml
6. “All About Seattle—English”. <http://www.allaboutseattle.jp/english.htm>
7. Fraser, Simon A. “Vocabulary and the Teaching of English for Specific Purposes”. 呉大学社会情報学部
8. 園城寺康子著『看護学科における英語教育のニーズアナリシスとカリキュラムへの示唆』「科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書；平成13年度—平成15年度」研究課題番号：13680329 東京：園城寺康子、2004.
 園城寺康子他共著『看護英語読解15のポイント』東京：メジカルビュー社、2005.
9. 依田萬代他『中国の食文化と実践』「山梨学院大学短期大学食物栄養科テキスト」
 (現代の中国における食文化の探訪。中国料理の実践レシピも併記)
 志の島忠、志の島小美著『新しい日本料理酒肴事典』魚介編。「広島修道大学テキストシリーズ」東京：旭屋出版、2003.
 Leonard S. Lilly 編、川名正敏・川名陽子訳『心臓病の病態生理』「ハーバード大学テキスト」メディカル・サイエンス・インターナショナル、初版2000年、2004年。(「やせたい」に隠された心—摂食障害から回復するための13章。食物アレルギーの手びき—正しい知識と治療、食生活指導…)
 以上の3冊は、Google から「大学テキスト 料理」で検索。
10. 永井一彦・鈴木喜久恵編、服部幸應監修『日本語から引く「食」ことば英語辞典』小学館。2005年。
11. Clemen, Gina D.B. *British and American Festivities*. Black Cat Publishing, 2004. p. 22f.
12. *Longman Wordwise Dictionary*. Longman Group UK Limited. 2001. p. 344.

References

- Clemen, Gina D.B. *British and American Festivities*. Black Cat Publishing. 2004.
Color Anchor—Illustrated Encyclopedia of English Words and Imagery. Gakken. 1984.
 Pearson Education Limited. *Longman Wordwise Dictionary*. Longman Group UK Limited. 2001.

謝辞：平成17年度英語教材（英会話、英文等）および本稿の“Abstract”の校閲をしてくださった宮下リンドウ駒沢女子大学人間関係学科助教授に感謝を申し上げます。